



札幌市立あやめ野中学校

学校だより「薫風」第5号

令和7年8月28日（木）発行

2学期始業式 校長挨拶

校長 大高 雅子

今日から新しい学期が始まります。皆さんとここで2学期のスタートを切れることをとても嬉しく思います。また、1年生に新たに仲間となった生徒は、不安でいっぱいだと思いますが、行事の多い2学期を仲間とともに楽しく過ごせるよう願っています。

さて、1年生の代表生徒のお話からは、夏の家族旅行での大切な経験から、SDGsへの探究的な学びへの意識を高めるとともに、2学期の学校生活への高い意欲が伝わってきました。また、3年生からの話では、受験生として自ら工夫し、準備を万全にして学びを進めながら、生徒会のメンバーとして行事の運営にも力を尽くそうとする意思が伝わってきました。

ところで、私はこの3年間、2学期の始まりにはいつも皆さんに伝えてきたことがあります。それは、2学期が1年の味を決めるということです。定期テストや前期の成績と次の行動計画、カーリングやスケート、総合の発表会などの行事、あやめ野祭、3年生は進路関係のテスト・相談・進路決定・出願、というように、味の濃い具が詰まっている2学期、だから、1年間の味を決める2学期。やることがたくさんあるということは、たくさん動くということです。たくさん動くことがあれば、喜びや感動とともに、悩みや苦勞もあります。いいえ、喜びや感動を倍にしてくれるのが悩みや苦勞と言っても過言ではありません。同じように一生懸命動いている人と一緒に何かを成すときは、悩みや苦勞の連続です。自分は どうしてこうなのだろう、あの人は何であんなのだろう、と。しかし、確実なことが一つあります。それは、「ゴールがある」ということです。あなたたちは、中学生として、このゴールのある取組の数々を栄養素とし、自分の力をつけていくのです。目標達成のために計画する力、先の準備する力、結果を予測して工夫する力、仲間に分かりやすく説明する力、仲間の声を聴く力、仲間に自分ができるところを一生懸命に協力する力、ゴールには、喜び、達成感、安堵感、悔しさ、様々な気持ちが残ります。もし残念だったとしても、何にもならなかったということはないのです。「結果は気持ち」のこと、「途中は残っていく力」ということなのです。

2学期は、だから、たくさんの取組の、「途中を頑張る」ことです。あなたたちが数年後、簡単にはゴールが見えないことに挑むとき、この、中学校での、小さなゴールのある取組を頑張ってつけた力が、必ずあなた自身を助けるものになるのです。小さなゴールのある取組が一番多い2学期は、だからとても大切なのです。

日本人野手として初めて大リーグに挑戦し、その偉大な成績から、殿堂入りを果たしたイチロー選手のスピーチの一部です。

アメリカに来た時、体の大きな大リーガーと争うには瘦せすぎだと多くの人から言われました。

初めてフィールドに駆け出した時、競争の激しさに驚きつつも、自分の準備に対する信念を貫けば、自分の中にある疑いすら乗り越えられると分かっていました。

偶然ではない準備や努力は、あなたを裏切らない。2学期は1年の「味」を決めます。

「やさしさは強さ」も、同じです。自分で意識して、途中を大事にできる2学期になるようお願い、私の話を終わります。



2学期始業式 代表の生徒のお話

3-

私はこの夏休みは、定期テスト勉強に専念するという目標を設定しました。夏休みの課題は、できるだけ7月中に終わらせ、8月は課題に気をとられることなくテスト勉強に取り組めるようにしました。この目標設定のおかげで無事に7月中に課題を終わらせることができ、テスト勉強では今までやってきたテストの復習をしたり、ワークを何周も繰り返したり、毎年行ってきたような基礎となる勉強だけでなく、応用問題や入試問題にも集中することができました。また、ただ勉強するだけでなく、私は勉強方法にも目を向けました。私は、長時間集中が苦手なので、「25分勉強、5分休憩」を意識して行ってみました。その他にはペンを使い分けてノートの見栄えを良くするなど、色々工夫しました。自分なりの勉強方法を見つけることができ、勉強のモチベーションにつながりました。定期テストまで残り数日ですが、残された時間を有意義に使って対策していきたいと思います。

また、3年生は定期テストが終わり1週間ほど経てば学力テストAが実施されます。その後も10月には学テB、11月には学テC、12月には定期テストなど、これから毎月成績や入試に関わる大きなテストがあります。定期テストが終わり、ゆっくりできる時間が少ないですが、使える時間はしっかり学習に使うようにして、無駄な時間は少しでも減らしていこうと思います。

学習面にばかり述べてきましたが、夏休み中は、家族と日帰りで函館に行ったり、はとことウポポイやサーモンパークで遊んだり、友達とカラオケでたくさん歌ったりなど、休みを満喫することができました。この夏休みで1学期の疲れを取ることができたので、いつまでも休み気分ではなく、気持ちを切り替えて、これからの2学期をがんばりたいと思います。

そして、私たちにとっては、最後となるあやめ野祭や体育大会などの学校行事もあります。生徒会役員として力を注ぎながら勉強と両立していきたいです。



1-

私の夏休みの思い出はキャンプに行ったことです。家族みんなでテントを立てて川で遊んだり、外でたくさん遊んだりして、夕方から炭を使って焼肉をしました。自然の中での焼肉は普段よりも何倍もおいしかったです。その後は花火をして寝袋で寝ました。夜中に目が覚めたので、外に出てみると札幌では見られないような美しい星空が広がっていました。そして朝5時ごろに起きてみると夏とは思えないくらい涼しく、息が白くなりました。寒いので、炭をおこして暖まりました。ランタンの数が少なくてテントの中が暗かったですが、すてきな自然の中で1日過ごせて幸せでした。このような自然がなくなることはないように改めてSDGsについて考えていきたいと強く思いました。

そして2学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は学習面です。定期テストや単元テストなどの勉強する時に、少しの復習で授業内容を思い出せるようにがんばりと思ったからです。2つ目は、あやめ野祭の合唱です。中学校生活の中で3回しかない大切な学校行事だからこそクラスや学年で全力を出して、すてきな合唱にしたいと思ったからです。より良くするために合唱練習の時には全力で参加して本番に挑むことを努力しようと思います。



本校のWebページの二次元コードです。日々の学校の様子を紹介しています。

